

「京丹後市美食都市のまちづくり推進協議会」設立趣旨

1. 背景と目的

京丹後市は、古来より風土に根ざした豊かな食文化が育まれ、間人ガニや丹後産コシヒカリ、地酒、季節のフルーツ、丹後ばらずしなど、高い技術やブランド価値、歴史を有する食資源・食文化を数多く創出してきました。これらの強みを活かしながら、さらに、平成28年に京丹後市議会で決議された「京丹後『食の王国』のまちづくり宣言」を踏まえ、地域の自然、歴史、気候風土に育まれた「豊かな食文化」を活用したまちづくりを進めてきました。

こうした連綿と受け継がれてきた食文化や暮らしのあり方は、男性長寿世界一としてギネス世界記録に認定された故・木村次郎右衛門さんをはじめとする地域住民の健やかな人生を支えてきました。

そして、これまでの着実な取組と、本市が世界に誇る「健康長寿」というアイデンティティが、国内初となる「美食都市アワード2024」受賞という客観的評価に結実しました。

本市はこれを到達点ではなく、新たな飛躍への転換点と捉えて、京丹後固有の風土に根ざした食文化の価値を守りながら新たに創造し、未来世代へ継承することを基本理念とし、「美食都市のまちづくり」を、産業振興と地域づくりを両輪で進めるための戦略軸として明確に位置付けました。

この取組を新たな段階へ深化させるためには、京丹後の「美食」を支える生産、もてなし、教育、環境のすべてに携わる関係者の協力の下、相互に連携し持続可能な好循環を目指して、次世代へ豊かな社会を継承していくための産官学金民が一体となった力強い推進体制を構築していく必要があります。

2. 私たちが目指す姿

本協議会は、「美食」と「幸福長寿」を共通言語に、以下の好循環を構築します。

・**『かせぐ』産業振興の実現**：食の背景にある物語を伝えるガイドや料理人の育成、生産者と飲食関連事業者との連携強化、ガストロノミーツーリズム（その土地ならではの食文化を体験する旅）の推進を通じ、地域経済の活性化を図ります。

・**「誇りある『くらし』の創造」の深化**：食育の推進やシビックプライドの醸成を通じ、世代を超えて食文化を継承し、誰もが心身ともに健やかに暮らせる地域社会を育みます。

3. 協議会の役割と連携体制

本協議会は、美食都市のまちづくりに関する単なる議論の場にとどまらず、地域の『かせぐ』産業振興と「誇りある『くらし』の創造」の両立を共に形づくるための「実践のプラットフォーム」です。

・**知恵と力の結集**：生産者、事業者、教育研究機関、市民、行政等がそれぞれの専門的な立場から垣根を超え、知恵や経験を持ち寄ることで、未来につながる新しい価値を生み出す取組を推進します。

・**専門的知見の活用**：高い知見を有する専門機関からの伴走支援や民間人材の力を活かし、客観的かつ戦略的にプロジェクトを推進します。

4. 結び

京丹後の「美食」は、この土地の自然と歴史を未来へつなぐ「まちの記憶」であり、先人から受け継いだかけがえのない財産です。この財産を未来世代へ継承するため、産官学金民による結束は欠かせません。

私たちは、京丹後の「美食」という最大の強みを活かし、国内外から選ばれ、市民一人ひとりが誇りを持てるまちを築くため、本日ここに「京丹後市美食都市のまちづくり推進協議会」を設立いたします。